

第147回(2021年10月度)ウォーキング同好会の報告

豊かな自然に触れながら須々万の歴史と魅力が発見出来る「須々万ロマン」のウォーキングを10月16日(土)に実施。このコースには田園風景の中を歩くコースで孟宗竹の突然変異といわれている「亀甲竹」、歴史を感じる「飛龍八幡宮」。この境内にある樹高が36mで国指定文化財の「大玉杉」、大内陣営と毛利元就が戦った沼城址等があります。

＜参考＞大玉杉 → ☆樹齢1200年以上の国指定文化財でこの「大玉杉」の大枝が2ヶ月前に折れる

＜参考＞須々万ロマン → ☆第1回：2008年8月開催、第100回：2017年6月開催

- 10時00分：亀甲竹の自生地に向けて公民館前駐車場を出発。
- 10時35分：亀甲竹の自生地に到着後、須々万中学校正門入口を經由し、飛龍八幡宮方面に向けて出発。
- 11時20分：飛龍八幡宮に到着。15分程度休憩後、保福寺方面に向けて出発。
※今回は時間の制約で山崎伊豆守興盛自刃の地(石碑)は見学していません
- 12時00分：沼城橋、保福寺を經由し、公民館前に到着。市民センターにて昼食後、12時20分に解散。(本日の万歩計：9,000歩、参加者：9名)

以上、次回のウォーキングも宜しくお願い致します。

A Y S A 交流啓発・健康福祉部会

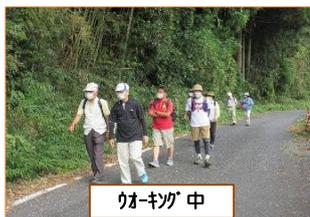
(ウォーキング同好会)世話人：長棟章



亀甲竹



集合場所駐車場



ウォーキング中



ウォーキング中



ウォーキング中



参加者の皆様



参加者の皆様



参加者の皆様



保福寺



大玉スギ



飛龍八幡宮



大玉スギの折れた大枝



保福寺裏山の仏像群



ウォーキング中



飛龍八幡の参道

＜参考＞：須々万ロマンコースの看板について

- 亀甲竹(キョウカチ)：孟宗竹の突然変異で一節おきに交互に膨らんで亀甲模様になった竹。
- 沼城址：毛利元就の防長制圧において最大の激戦となったところがここ沼城の戦い。 ○保福寺：沼城・城主の菩提寺
- 飛龍八幡宮：南北朝時代の後円融天皇の時代(14世紀後半頃)に京都男山から降臨し社殿を建立したことに始まる。
- 大玉スギ：樹高34mの県内で最も大きい樹木。



沼城址

次回(第148回)のウォーキングは、11月20日(土)に実施予定です